

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称 石定盤用ワックス GW-300Y2
製品コード 150644
供給者の会社名 新潟精機株式会社
住所 新潟県三条市塚野目 5 - 3 - 1 4
電話番号 0256-33-5502
ファックス番号 0256-33-5528
推奨用途及び使用上の制限 石定盤表面の保護に

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-----------|--------------------|----------|
| 健康に対する有害性 | 急性毒性(経口) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性(経皮) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性(吸入：気体) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性(吸入：蒸気) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性(吸入：ミスト、粉じん) | 区分に該当しない |
| | 生殖毒性・授乳を介した影響 | 区分に該当しない |
| | 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) | 区分 2 |
| | 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) | 区分 2 |
| 環境に対する有害性 | 水性環境有害性(短期/急性) | 区分に該当しない |
| | 水性環境有害性(長期/慢性) | 区分に該当しない |

GHSラベル要素 絵表示 (ピクトグラム)



| | | |
|-----------|---------|---|
| 健康に対する有害性 | 注意喚起語 | 警告 |
| | 危険有害性情報 | H371 臓器への障害のおそれ H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器への障害のおそれ |
| 注意書き | 安全対策 | P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと P264 取扱い後は手/顔等を良く洗うこと P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと |
| | 応急処置 | P314 気分が悪いときは医師の診察/手当てを受けること P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること |
| | 保管 | P405 旋錠して保管すること |
| | 廃棄 | P501 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること |
| | | |
| | | |

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区別 : 混合物

| 成 分 名 称 | CAS No.: | 含有量 | 化審法 | 安衛法 | 毒劇法 |
|------------|-----------|-----|-----|-----|-----|
| 特殊シリコンオイル | 非公開 | 非公開 | — | — | — |
| 陽イオン系界面活性剤 | 非公開 | 非公開 | — | — | — |
| カルナバワックス | 非公開 | 非公開 | — | — | — |
| グリコールエーテル | 非公開 | 非公開 | — | — | — |
| 多価格アルコール | 非公開 | 非公開 | — | — | — |
| 防錆剤 (非鉄用) | 非公開 | 非公開 | — | — | — |
| 防錆剤 | 非公開 | 非公開 | — | — | — |
| 着色剤 | 非公開 | 非公開 | — | — | — |
| 純水 | 7732-18-5 | 非公開 | — | — | — |

| | | |
|----------------------|--|--|
| 4. 応急措置 | <p>吸引した場合 皮膚に付着した場合 眼に入った場合 飲み込んだ場合 応急措置をする者の保護</p> | <p>気分が悪いときは医師の診断/手当てを受けること 気分が悪いときは医師の診断/手当てを受けること 気分が悪いときは医師の診断/手当てを受けること 気分が悪いときは医師の診断/手当てを受けること 情報なし</p> |
| 5. 火災時の措置 | <p>適切な消化剤： 使ってはならない消化剤 特有の危険有害性 特有の消化方法 消火を行う者の保護</p> | <p>本製品自体に燃焼性はないが状況に応じて適切な消化剤を使用する 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし</p> |
| 6. 漏出時の措置 | <p>人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p>封じ込め及び浄化の方法及び機材</p> <p>二次災害の防止策</p> | <p>作業の際には「8.ばく露防止及び保護措置」で規定する保護具を着用し、眼/皮膚への接触やガス/粉じん/ヒュームの吸入を避けること 周辺を立入禁止にして関係者以外近づけないようにして二次災害を防止すること 屋内の場合、換気をよくしてガス/蒸気/ミスト/粉じんなどの吸入を避けること 排水処理設備を有する場合は、排水処理の責任者に連絡して漏出した製品を多量に含む排水が環境中へ排出されないように対策を講じること 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移すこと 付着物/廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること 少量の場合は、吸着剤（おがくず/土/砂/ウエス等）で吸収させ取り除いたあと残りをウエス/雑巾等でよく拭き取る 大量の場合は、土砂等で困って流出を防止し、スコップまたは吸引器などで空容器を回収する 回収した製品は密閉できる容器に回収する 周辺を立入禁止にして関係者以外近づけないようにして二次災害を防止すること 関係部署（安全/衛生/環境/防災等）に連絡し、適切な対策を講じること</p> |
| 7. 取扱い及び保管上の注意 技術的対策 | <p>局所排気・全体換気 安全取扱注意事項</p> <p>保管 接触回避 適切な保管条件 容器包装材料</p> | <p>取扱い後は手/顔等をよく洗うこと 容器を転倒/落下/衝撃を与える/引きずる等乱暴な取り扱いはいしないこと 取扱いに際しては「8.（ばく露防止及び保護措置）」に記載の設備対策（排気/換気）を行い、保護具を着用する等のばく露防止対策を講じること 取扱いに際しては「8.（ばく露防止及び保護措置）」に記載の設備対策を行うこと 取扱い後、付着があれば手/顔等を洗うこと 休憩所や飲食スペース等には使用した保護具を持ち込まないようにすること 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと この製品を使用するときに飲食/喫煙をしないこと 「10. 安定性及び反応性」の混触危険物質を参照すること 旋錠して保管すること 製品容器又はそれに代わる十分な強度を有する容器を使用すること</p> |
| 8. ばく露防止及び保護措置 | <p>管理濃度 許容濃度 (日本産業衛生学会) ACGIH 設備対策 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 皮膚及び身体の保護具 衛生対策</p> | <p>設定されていない 設定されていない 設定されていない 適切な排気/換気装置を使用する 必要に応じて適切な呼吸用マスクを着用する 必要に応じて薬剤を透過/浸透しない保護手袋を着用すること 必要に応じて保護眼鏡を着用すること 情報なし 情報なし</p> |
| 9. 物理的及び化学的性質 | <p>形状 色 臭い</p> | <p>液体 淡褐色 ほぼ無臭</p> |

| | | |
|--------------|-------------------------------|--------------------------------------|
| | pH | 約6.0(原液,25℃) |
| | 融点/凝固点 | 情報なし |
| | 沸点又は留点/沸騰範囲 | 情報なし |
| | 引火点 | 非引火性 区分に該当しない |
| | 燃焼又は爆発範囲上下限 | 情報なし |
| | 蒸気圧 | 情報なし |
| | 比重(相対密度) | 約1.01(25℃) |
| | 溶解度 | 水に可溶 |
| | n-オクタノール/水分分配係数 | 情報なし |
| | 自然発火温度 | 情報なし |
| | 分解温度 | 情報なし |
| | 粘度 | 情報なし |
| | 相対ガス密度 | 情報なし |
| | 粒子特性 | 情報なし |
| 10. 安定性及び反応性 | 化学的安定性 | 通常の取扱い条件下では安定 |
| | 危険有害反応可能性 | 情報なし |
| | 避けるべき条件 | 情報なし |
| | 混蝕危険物質 | 情報なし |
| | 危険有害な分解生成物 | 情報なし |
| 11. 有害性情報 | 急性毒性(経口) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性(経皮) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性(吸入) 気体 | 区分に該当しない |
| | 蒸気 | 区分に該当しない |
| | 粉じん・ミスト | 区分に該当しない |
| | 皮膚腐食性/刺激性 | 分類できない |
| | 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 分類できない |
| | 呼吸器感作性 | 分類できない |
| | 皮膚感作性 | 分類できない |
| | 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 区分に該当しない |
| | 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) | 区分 2 (中枢神経系/血液系) |
| | 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) | 区分 2 (中枢神経系/呼吸器系) |
| | 誤えん有害性 | 分類できない |
| | 生体蓄積性 | 情報なし |
| | その他情報 | 情報なし |
| 12. 環境影響情報 | 残留性・分解性 | 区分に該当しない |
| | 土壤中の移動性 | 分類できない |
| | オゾン層有害性 | 情報なし |
| 13. 廃棄上の注意 | 廃棄方法 | 内容物や容器等の廃棄物は許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処理すること |
| | 容器・包装の適切な処理方法 | 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること |
| 14. 輸送上の注意 | 国際規制 国連分類 UN No. | 非該当 |
| | 海上規制情報 | 非危険物 |
| | 航空規制情報 | 非危険物 |
| | 陸上規制情報 | 非危険物 |
| 特別な安全上の対策 | | 輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように注意する |
| その他(一般的) 注意 | | 荷崩れ等による破損等の防止措置を行う |
| 15. 適用法令 | 化学物質排出把握管理促進法 (令和5年4月1日施行) | 非該当 |
| | 労働安全衛生法 | 非該当 |
| | 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |

16. その他の情報

本データシートは作成時点の当社の知見に基づき危険有害性伝達の目的で作成しており、製品規格や物理化学的性質の値、危険・有害性の完全性・正確性を補償するものではありません

JIS Z7253:2019 に準拠して作成されています

参考文献：

GHS分類結果データベース 独立行政法人 製品評価技術基盤機構HP

GHSモデルSDS情報 中央労働災害防止協会HP

J-GLOBAL HP

災害事例：なし